

2022年2月12日(土)

尾張旭市制50周年記念シンポジウム

第3部 パネルディスカッション

あさひの歩みから未来へ 尾張旭市のブランディングとSDGs

【主な内容】

1. 「健康都市」としての尾張旭の特徴と魅力
2. まちの健康づくりと環境教育
3. SDGsの視点に立った尾張旭のブランディング



名古屋産業大学

大学院環境マネジメント研究科長・教授 伊藤 雅一

自己紹介

◆専門分野

- ・環境政策、環境教育、都市地域経営
- ・社会活動として、国内外の小・中学校、高等学校と連携して、地域のCO₂濃度調査に基づく環境教育を実践

◆尾張旭との関わり

- ・尾張旭市健康都市づくり懇談会(2005年度)、尾張旭市総合計画審議会(2013年度)、尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議(2009年度～)などに参加
- ・尾張旭市商工会と連携し、尾張旭の緑を活かした集客交流イベントとして、エコウォーキングを企画・実施(2003～2005年度)
- ・尾張旭市内の小・中学校における環境教育を企画・実施(2003年度～) など



CO₂濃度の見える化



エコ・ウォーキングの企画・実施

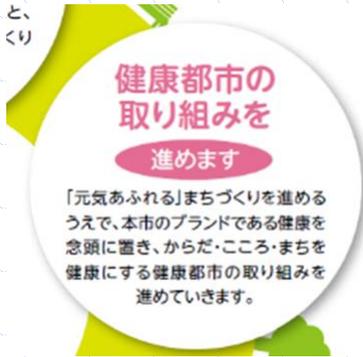
「健康都市」としての 尾張旭の特徴と魅力

◆本日の話題提供

専門分野(環境政策、環境教育、都市地域経営)と、尾張旭市における健康都市プログラムの策定(2005年12月)、第5次総合計画の改定(2014年3月)等の審議に参加した経験を踏まえて……

健康都市宣言 2004年8月

尾張旭市第五次総合計画
と、
くり
平成26～35年度(2014～2023年度)



多くの
共通点



総合計画・健康都市の取組

SDGs (持続可能な開発目標) の視点

市民や事業者などと連携し、本市の取組を継承・発展

まちの健康づくりと環境教育

◆環境教育の背景

まちの健康づくりにとって、カーボンニュートラルへの対応は避けて通れない課題。その実現には、**人々の意識変容、行動変容**と、より一層の国際協調が不可欠。

◆環境教育の実践

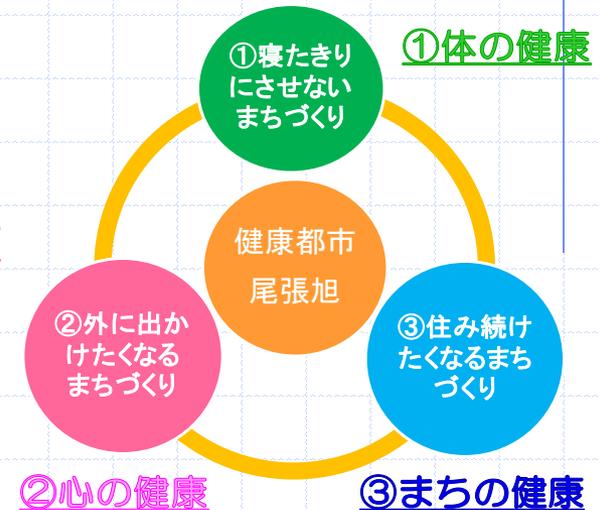
身近な地域のCO₂濃度調査を通じて、

- ①気候変動に対応した環境リテラシーの段階的な養成
 - ②国際協調の基盤となるグローバルシチズンシップの養成
- を図ることにより、グローバルな視野から、CO₂の排出源、吸収源の影響を自覚し、その改善に向けた環境行動を実践できる人材を養成。

◆環境教育の取組成果(2003年度～)

日本及び台湾の小・中学校、高等学校の延べ161校で環境教育を実践し、6,000名を超える児童・生徒が参加。ベトナム、インドネシアでも環境教育の展開に着手。

尾張旭市では、これまでに西中学校、旭中学校等で環境教育を実践。また、本年2月には、市内の小学校(9校)を対象にCO₂濃度測定器を配置し、教室のCO₂濃度測定による換気対策を支援。



健康都市づくりのスキーム

環境教育の普及とSDGs

◆学校応援プロジェクトの推進: SDG3,4,13

環境CSRを推進する企業と連携し、東海3県の小・中学校、高等学校を対象に、気候変動(植物の光合成実験等)と新型コロナ(教室の換気実験)に対応した環境学習を支援。

・文部科学省「日本型教育の海外展開(EDU-Port)応援プロジェクト」にも採択

◆持続可能な地域づくりに向けた市民科学の創成: SDG4,11,13

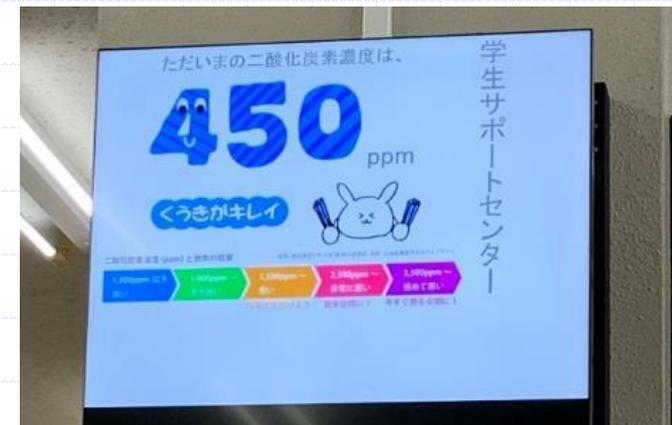
環境教育の対象を成人教育に拡大し、地域住民がCO₂濃度の調査活動等に参画する市民科学プログラムの開発を推進。

・地球温暖化防止活動にCO₂濃度データを活用

注:SDG3は健康と福祉、SDG4は質の高い教育、SDG11は住み続けられるまちづくり、SDG13は気候変動対策に関する目標



植物の光合成実験



校舎内の換気状況の可視化

SDGsの視点に立った 尾張旭のブランディング

◆ 環境教育を通じたSDGs達成への貢献

- ・環境教育の実践:SDG4,11,13に貢献
- ・換気対策(新型コロナ対策)の支援:SDG3に貢献

◆ 尾張旭の健康都市づくりとSDGs

SDG3(健康と福祉)、SDG4(質の高い教育)、SDG11(住み続けられるまちづくり)、SDG13(気候変動対策)の観点から強化できるのでは。

⇒尾張旭市が実施したSDGs市民アンケート(2019年10月)でも尾張旭の市民が取り組んで欲しいと答えた目標は、SDG11が1位、SDG3とSDG4が2位。

◆ 尾張旭のブランディング強化に向けた政策形成例

健康都市づくり:健康都市プログラムの推進

+ ⇒ ex.健康ウォーキングの奨励

ゼロカーボンシティ:まちの健康づくりの新たな価値創造

+ ⇒ex.公園都市づくり(CO₂吸収源対策)の充実

SDGs未来都市:健康都市づくりと地域経済との好循環

⇒ex.健康ウォーキングを核とした集客交流の仕組みづくり